



大鷲神社

花畑団地周辺地区 まちづくりの記録

人の和が織り成すまち花畑

西の市発祥の神社と言われ、足立区の登録文化財である

徳川家より寺領を拝領し、三つ葉葵が寺紋に用いられている

区内屈指の歴史深いまちが若い力と融合し新たな和が生まれていく

おおとりじんじゃ

「大鷲神社」

じっしやうじ

「實性寺」



實性寺

はじめに

昭和39年に建設された花畑団地は、時間の経過と共に老朽化や少子高齢化などの問題が顕著になり、UR都市機構は花畑団地再生事業に取り組むことになりました。

これは、この地域の「住環境の向上」「水と緑の豊かなまちの維持」「交通の利便性向上」「多世代が安全安心に住み続けられるまち」などの諸課題を再考する機会となりました。

私達「花畑団地周辺地区まちづくり協議会」は、地域の町会・自治会が中心となり、UR都市機構・行政と協働して地域の諸課題に向き合うために設立され、より住みやすいまちを実現するための調査や検討を進めてきました。そして、設立から10年余の活動により、花畑団地再生事業は終結を迎え、この地域の諸課題を大きく改善することができました。

住民自らが団結してまちづくりを行うことの大切さを伝え、まちの想いを実現させた歴史を残すものとしてこの記録を作成します。



会長 有馬 康二

より住みやすいまちの実現に向けて



協議会

本協議会では花畑団地周辺の町会・自治会の代表等が集まり、地域の諸課題の改善について話し合いを重ねてきました。

街並み

- ・ 歩道の拡幅や安全に歩ける動線の整備
- ・ 地域資源を結ぶ快適な動線ネットワークの形成
- ・ ルールに基づいた花畑らしい緑豊かな景観の誘導

生活

- ・ 生活の利便性を高める商業施設の誘致
- ・ 公共交通サービス機能の充実
- ・ 子育てや高齢者支援の拠点形成

環境

- ・ 団地敷地内での緑化促進
- ・ 緑豊かな生活動線の形成
- ・ 毛長公園の緑の連続性創出とオープンスペースの整備



平成22年 協議会の様子



地区まちづくり計画 <平成22年6月策定 平成26年12月変更>

花畑団地再生事業を契機に、本協議会、UR 都市機構、行政の協働のもと策定されました。その後、事業の進捗に合わせ、「誰もが安心して生活できる緑豊かで賑わいあるまち」を実現するための検討を重ね、変更を行いました。

この計画の変更に伴い、平成27年2月に「景観ガイドライン」、平成28年7月に「花畑五丁目地区地区計画」が変更されました。



まち歩き <平成27年5月>

地域の景観や、大学の開校を見据えた通学路の安全性、まちの賑わいについて検討するためにまち歩きを実施しました。今後さらに魅力ある花畑地区にすべく活発な意見が出されました。

まち歩きから出された意見により、川沿いの不法投棄対策やガードパイプ、防犯カメラ・防犯灯の設置が進められました。



アンケート調査 <平成27年11月>

毛長公園周辺の改修方法を検討するため、アンケート配布や現地での聞き取り調査を行いました。



交通量調査 <平成27年11月>

文教大学開校による交通量の増加を考慮して交通量調査を行いました。地区の安全性を確保すべく交通規制の見直しも併せて行いました。



地区外からの視察団体の受け入れ

花畑団地再生事業による取り組みが評価され、全国の自治体、海外では中国からの視察もありました。

今後も花畑のまちづくりは進みます！

今回のまちづくりの取り組みは、住民が中心となり UR 都市機構や行政と話し合いながら、団地再生事業を進めた先進的な事例として評価されています。

現在、ベルクスモール足立花畑や文教大学の誘致が実現し、令和4年3月末の花瀬橋の完成をもって検討を重ねてきたまちづくりは概ね実現します。

花畑は、文教大学という若い力が加わり、地域の子供たちと共に成長を楽しめる新たな局面を迎えています。

これからも、お力添えくださるようお願いします。



生活を支える商業施設が誕生 <平成26年10月 オープン>

ベルクスモール足立花畑

- ・生活利便性の向上や賑わいの創出につながる複合的な商業施設誘致を要望しました。
- ・ショッピングモール型店舗の1号店で、地域の健康と暮らしに役立つ多種多様なテナントが入っています。



(写真：(株)サンベルクス提供)

<平成27年 整備>



移動にさらなる安全安心を

バス停の新設・歩道の拡幅整備

バスルートの見直しを検討し、ベルクスモールへ買い物に訪れる人が便利な新しいバス停や、バスを待つ方と歩行者の交錯を防ぐため、歩道の拡幅整備を要望しました。



<平成28年4月 開園>



地域の子育てをサポート

レイモンド花畑保育園

- ・待機児童と花畑保育園の老朽化という課題を解消するため、新たな保育施設を要望しました。
- ・地域の子育て支援の中核的施設として、園児に限らず地域の方々の子育て相談に応じるなど、幅広い活動を行っています。



(写真：レイモンド花畑保育園提供)

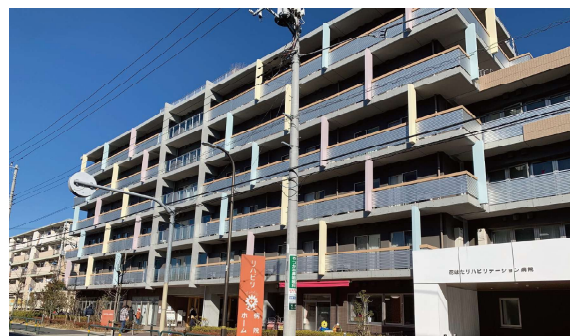


高齢者支援施設が誕生

リハビリホーム花はた

- ・地域の高齢化対策を考えて高齢者支援施設を要望しました。
- ・地域の方々と入居者がコミュニケーションを図れる場として、施設の1階には地域交流スペースが設けられています。

<平成28年7月 開設>





若者がいる活気あるまちへ

<令和3年4月 開校>

文教大学東京あだちキャンパス

多くの若者を呼び込み新たな賑わいを創出するため、海外留学生の多い大学、私立中高一貫校、各種専門学校など教育施設の誘致を要望しました。
区はこれを受け、UR 都市機構に要望し大学の誘致が実現しました。



令和3年3月20日に文教大学の開設記念式典が行われました。野島理事長(左)、有馬会長(右)

キャンパスの様子



キャンパス内の図書館、カフェ、食堂等は地域に解放されています！

(写真：文教大学提供)

花畑団地周辺地区の変化



新たな架け橋

<令和4年3月末 花瀬橋完成予定>

足立区と草加市の二つの地域を繋ぎ、交通の便がよくなりました。

大鷲さくら橋

桑袋地区の小中学生や特別支援学校の学生の通学に欠かせない人道橋であった「さくらはし」は、車両も通行できる橋として、令和2年に生まれ変わりました。橋の名称は、花畑の大鷲神社とかつての人道橋「さくらはし」に由来します。



花瀬橋

文教大学開校に伴う交通量の増加や交通の利便性を考えて、新たな橋が架かることになりました。橋の名称は、応募で頂いたものを協議会で検討し、足立区花畑と草加市瀬崎から各1文字を取り、「花瀬橋」と名付けられました。

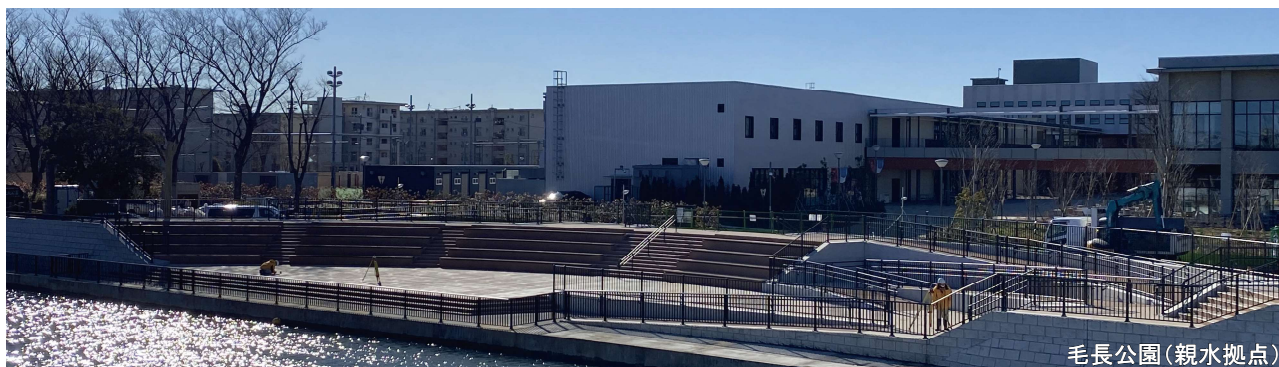


心安らぐ憩いの空間を創出

<令和4年3月末 一部完成予定>

毛長公園

毛長川沿いは、水に親しめることや既存の樹木を残すことを要望し、環境教育やイベントができる親水拠点、川沿いを歩ける親水テラス、ウォーキングや散策を楽しめる川と一体となった公園が整備されることになりました。



毛長公園(親水拠点)

花畑団地の変化

花畑団地集会所 <平成27年3月 完成>

- ・ 老朽化した花畑団地が改修され、緑の広場や各号棟に駐車場が設置されました。
- ・ 特筆すべきは花畑団地集会所です。足立区の友好都市である魚沼市産のスギをふんだんに使用し、平成27年9月グッドデザイン賞を受賞し注目を集めました。

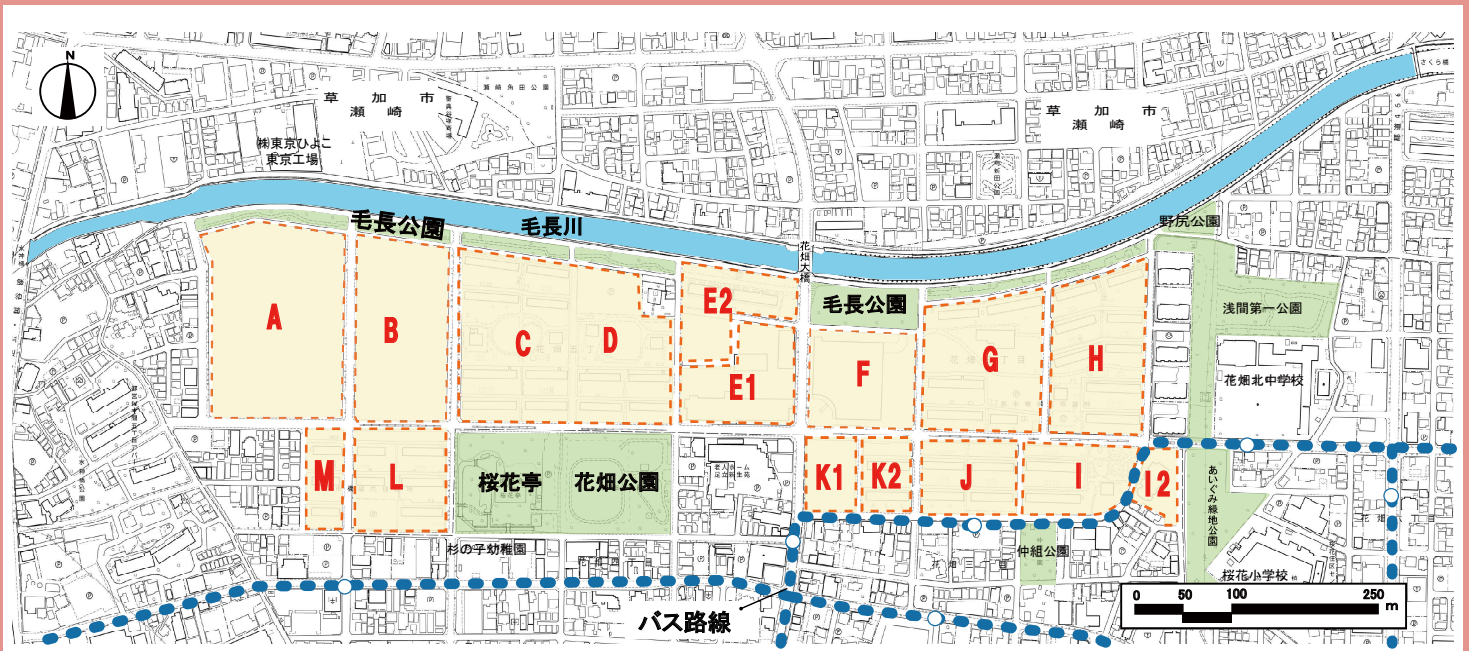
*グッドデザイン賞とは、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。



花畑団地集会所内

地図で見る花畑団地周辺地区の変化

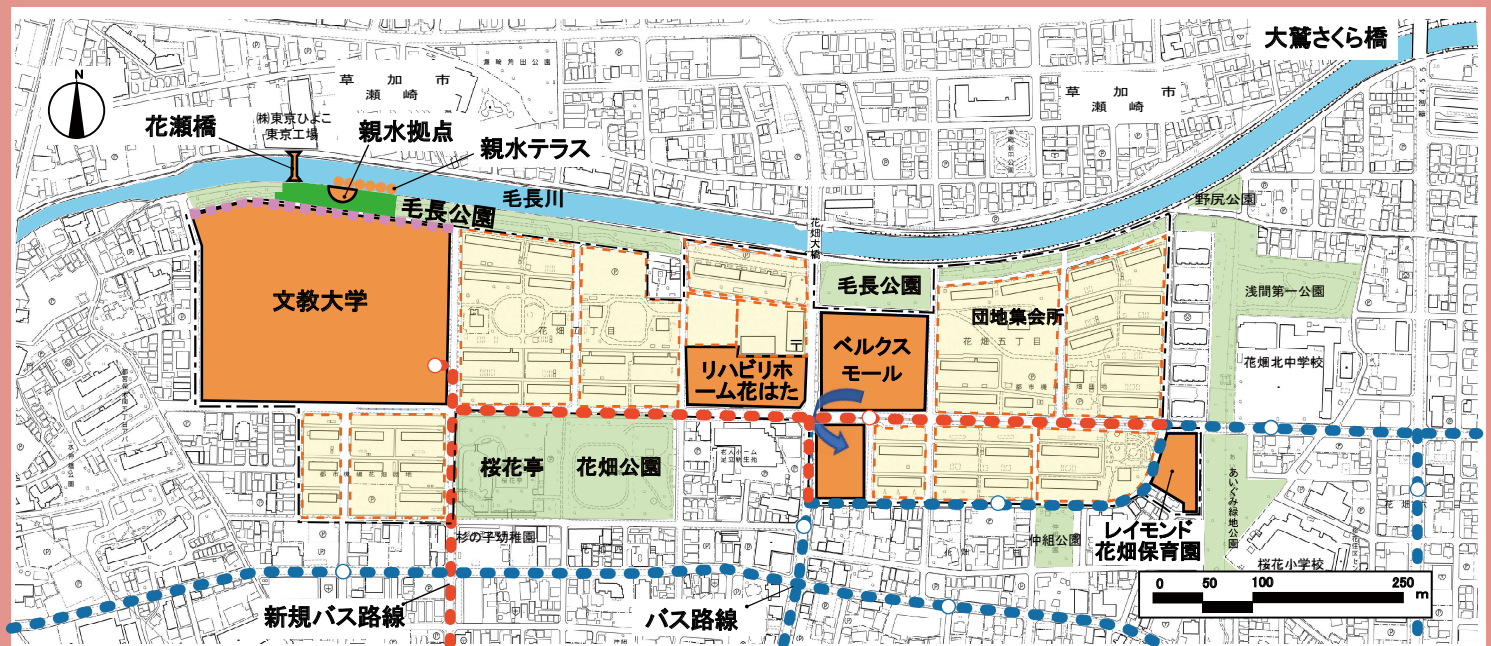
平成21年度



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号)3 都市基交著第 57 号

より住みやすいまちの実現に向けて協議会で検討！

令和3年度



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号)3 都市基交著第 57 号

花畑団地周辺地区 まちづくり協議会メンバー

※令和3年度時点 ◎印は会長、○印は副会長を示す

花畑地区町会自治会連合会
花畑地区町会自治会連合会
仲組三丁目町会
ベルドゥームール竹の塚自治会
エステート花畑自治会
会組町会
鷺宿町会
保木間11自治会
花畑団地自治会

◎有馬 康二
○加藤 清二
金杉 紘司
山田 市郎
水上 剛
岩田 実
村上 信次
鹿島 忍
佐藤 和雄

花畑七丁目団地自治会
仲組四丁目町会
保木間五丁目自治会
花畑西町会
水神町会
花畑地区女性部連合会
地元商業代表
まちづくり推進委員
学校法人文教大学学園

磯貝 昇
中崎 幸子
清家 美智代
飯塚 幸男
堀家 重夫
戸谷 恵美子
株式会社サンベルクス
高橋 和彦
東京あだちキャンパス



※周辺の町会・自治会が手を取り合い開催した大規模な盆踊り<令和元年8月 花畑公園>

(写真：(株)サンベルクス提供)

花畑団地周辺地区まちづくりの記録

発行日 令和4年3月
発行 花畑団地周辺地区まちづくり協議会
協力 足立区 都市建設部 市街地整備室 まちづくり課
足立区中央本町1丁目17番1号
〒120-8510 / tel: 03-3880-5346

花畑団地周辺地区のまちづくりについては、
右に記載のQRコードからご覧ください



G P